



奉祝行事の準備が進む行勝神社の本殿

行勝神社

地域を守り1300年

延岡市行勝町の行勝神社(甲斐重興宮)司創建1300年祭の奉祝行事が18日、同神社で行われる。祭典は4月15日の例祭で行ったが、本殿前に新たに建設した御神門の完成に合わせて、改めて祝う。

午前10時から神事を
行い、地域の発展と安
全、国の繁栄、氏子ら
の所願成就を祈願す
る。続いて御神門と碑
銘板の除幕式を行い、
神楽と臼太鼓踊りを奉
納、神社みこしを干



新たに建設された御神門

御神門を建設 18日に奉祝行事

の山崎聖業(山崎言社)長が参進し、資材の切り出し作業などは、地域住民や氏子が手弁当で行った。

数年ぶりに披露し、紅
白の餅をまいて祝う。
1300年を記念し
て新たに建設された御
神門は、神社敷地内で
育った樹齢1000年を
超える大杉(約30段)
を切り出して資材にし
た。建設費は員の畑町



奉祝行事で二十数年ぶりに披露されるみこし

左から宮大工の菅稔雄さん、区長の松本重夫さん、宮司の甲斐重興さん、氏子総代長の瀧本福司さん、氏子の松田勇雄さん



もなると思っています。100年に二度の大切なお祭り、皆さまとお祝いできることは喜びであり、神様のお導き。また、次の新たな100年に向けての出発の準備ができたことをお祝いする意味でも大切な日になります」と感慨深げ。
氏子総代長の瀧本福司さんも「1300年祭という記念のお祭りを、甲斐宮司さんと、この役員を迎えられたことは、区や氏子の皆さんにとっても、私たちがとても誇れる新しい出来事になりました。行勝神社は、南方地区9神社の親社です。これから1400年、1500年まで守っていただければ幸いです。この祭りを機に市内外から、お参りに来ていただければうれいですね」と話していた。

臼太鼓踊りなど奉納

今回の記念事業は本
殿屋根瓦のふき替えな
どで平成26年10月から
スタートし、平成28年
3月まで行われた。ま
た、奉祝行事で披露さ
れるみこしは、行勝町
の宮大工が30年以上前



本殿の左にそびえ立つ樹齢300年を超える夫婦(めおと)杉